

事故報告書

事業の種類		事業場の名称（建設業にあつては工事名併記のこと）				労働者数					
食料品製造業		〇〇食品株式会社				90 人					
事業場の所在地				発生場所							
仙台市宮城野区〇〇×-×-× (電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)				仙台市宮城野区〇〇×-×-×の寄宿舍							
発生日時				事故を発生した機械等の種類等							
平成〇年 8 月 15 日 2 時 30 分											
構内下請事業の場合は親事業場の名称 建設業の場合は元方事業場の名称											
事故の種類		火災									
人的被害	区分	死亡	休業4日以上	休業1~3日	不 休	計	区分	名称、規模等	被害金額		
		事故発生事業場の被災労働者数	男	2			2	建 物	付属寄宿舍	1,200万円	
		女	2	1		3	その他の建設物		円		
	その他の被災者の概数		()						機 械 設 備		円
									原 材 料		円
									製 品		円
									そ の 他	7トン冷蔵庫等	200万円
								合 計		1,400万円	
事故の発生状況		使用を終えた寄宿舍食堂から出火し、木造モルタル造り寄宿舍の1階及び2階の一部を焼き、就寝中の労働者2人が逃げ遅れて死亡、3人がやけどを負った。									
事故の原因		調査中であるが、漏電によるものと思われる。									
事故の防止対策											
参考事項											
報告書作成者職氏名		総務部長 安全太郎									

平成〇年 〇 月 〇 日

〇〇 労働基準監督署長 殿

事業者職氏名

〇〇食品株式会社
代表取締役 労働一郎



備考

- 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の中分類により記入すること。
- 「事故の発生した機械等の種類等」の欄には、事故発生の原因となった次の機械等について、それぞれ次の事項を記入すること。
 - ボイラー及び圧力容器に係る事故については、ボイラー、第一種圧力容器、第二種圧力容器、小型ボイラー又は小型圧力容器のうち該当するもの。
 - クレーン等に係る事故については、クレーン等の種類、型式及び吊り上げ荷重又は積載荷重。
 - ゴンドラに係る事故については、ゴンドラの種類、型式及び積載荷重。
- 「事故の種類」の欄には、火災、鎖の切断、ボイラーの破裂、クレーンの逸走、ゴンドラの落下等具体的に記入すること。
- 「その他の被災者の概数」の欄には、届出事業者の事業場の労働者以外の被災者の数を記入し、()内には死亡者数を内数で記入すること。
- 「建物」の欄には構造及び面積、「機械設備」の欄には台数、「原材料」及び「製品」の欄にはその名称及び数量を記入すること。
- 「事故の防止対策」の欄には、事故の発生を防止するために今後実施する対策を記入すること。
- 「参考事項」の欄には、当該事故において参考になる事項を記入すること。

- 8 この様式に記載しきれない事項については、別紙に記載して添付すること。
- 9 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。